

# にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会  
〒029-5614 西和賀町沢内字太田2-81-1  
TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234  
HOMEPAGE <http://nishi-shakyo.net/>  
E-MAIL [info@nishi-shakyo.net](mailto:info@nishi-shakyo.net)  
福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.70 2020.11.16



じぶんの町を  
良くするしくみ。

## 災害に備えて平時からの連携強化 〜災害ボランティアセンター設置運営にかかる研修訓練〜

北上市総合福祉センターで十月二十五日に自然災害発生時にボランティアを受け入れる拠点となる災害ボランティアセンターの設置運営に係る研修訓練が行われました。

岩手県社会福祉協議会と北上・和賀広域社協連絡協議会の共催で、社協職員、行政職員、地元NPO職員、地域のボランティアなど三十五名が参加して、設置運営訓練及び情報共有会議の模擬実践を行いました。この研修を前に九月十四日に悠々館において、災害ボランティアネットワーク会議を開催しており、平時からの行政、社協、NPOなど地元ボランティアとの顔の見える関係の構築を図る必要があるとの共通理解を確認しております。

研修当日は、台風により河川が氾濫したことを想定して災害ボランティアセンターの立ち上げから、ボランティア受付、ニーズ把握・マッチング、資機材の準備、ボラ

ンティアの送り出しまで模擬訓練を行いました。住民支援を行う際、被災者中心の支援、地域の特色、地域の社会資源を活用することを念頭に置きながら進めることを学びました。

また、情報共有会議模擬実践については、普段活動している中での強みを活かし、自分の役割から想定される課題を抽出しました。その後、全体でどんな情報が得られれば活動に活かされるかを検討しました。

参加されたボランティアも、災害時のボランティアの流  
れが分かってよかったですと話していました。



顔の見える関係を作る研修となりました

十二月二日かつ

歳末たすけあい募金に  
ご協力ください

目標額は、1,480,000円です

『歳末たすけあい運動』は、共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て様々な活動を重点的に展開するものです。歳末たすけあい募金運動は十二月一日から十二月三十一日まで行われます。趣旨をご理解いただき、ご協力願います。

なお、昨年度は生活困窮世帯三十二世帯四八〇、〇〇〇円、在宅介護・障がい者世帯五十一件三〇六、〇〇〇円、母子父子世帯二十二件一三二、〇〇〇円、災害被災世帯一件一〇、〇〇〇円、在宅介護者リフレッシュ事業七〇、〇〇〇円、障がい者施設に五〇、〇〇〇円、冬期除雪活動支援に五〇、〇〇〇円配分いたしました。

令和二年度

福祉のまちづくり支援事業  
助成事業募集のご案内

岩手県共同募金会では、地域において身近な福祉課題に取り組んでいる団体や住民に向けた福祉サービスを行う団体の、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を支援し、住民参加による福祉コミュニティづくりを推進するため次の助成事業を募集します。

事業実施期間

令和三年四月一日から令和四年三月三十一日まで

助成団体

地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体や町内会・自治会等任意の住民グループ

助成金額

二〇万円以内

申請期限

令和二年十二月十五日(火)

助成例

Ⅱ 助成例Ⅱ サロンで使う輪投げセット (単位老人クラブ)・行事用テントの整備 (自治会) など

詳細については、社協本部(電話八五―三二二五)までお問い合わせください。

ご寄付ありがとうございます

ございました

匿名

100,000円

### お知らせ

年末恒例の西和賀町チャリティショーは、新型コロナウイルス蔓延防止のため、今年は中止とさせていただきます。楽しみにしていただいていた皆様、大変申し訳ありません。

西和賀町チャリティショー実行委員会

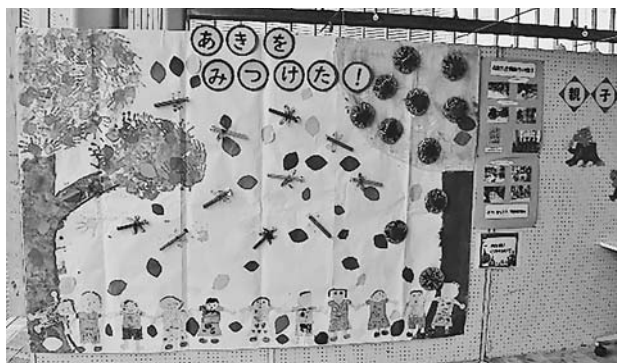
## 福祉展示会を開催しました

令和2年10月20日から25日に、湯本『まちなか交流館』にて福祉展示会を開催しました。

町内の保育園、保育所、各小学校、中学校、読み聞かせボランティアの参加をいただき、運動会等のDVDの上映を行いました。特に、運動会のDVDは新型コロナウイルスの関係で観戦できなかった方々に好評でした。

又、展示の部門では、町内の福祉団体、ボランティア連絡協議会、介護予防事業、社協の在宅事業、読み聞かせボランティアグループてんとうむし、保育園、保育所、西高美術部等、各々の作品や活動報告など、沢山の展示を皆さんにみていただきました。この展示会を機会に、町内の活動を知っていただき、町全体の福祉意識の向上につながりました。

期間中、皆様から赤い羽根共同募金イベント募金にご協力いただきました。ありがとうございました。



新町・せんだん・川舟保育所年中児の作品



川尻保育園の活動紹介

### 第七十三回岩手県社会福祉大会

十月三十日に岩手県民会館において岩手県社会福祉大会が開催されました。式典のみの開催となりました。

多年に渡り社会福祉の向上に尽力された方々が表彰されました。本町からの表彰者は、次の方々になります。受賞された皆様おめでとうございます。

#### ▲岩手県社会福祉大会長表彰▼

#### 【社会福祉事業功労者】

西和賀町社協 理事 高橋 成氏  
やすらぎ会 監事 高橋 義雄氏

#### ▲岩手県民生児童委員協議会長表彰▼

#### 【永年勤続民生児童委員】

湯川地区民生児童委員 武田 貞子氏



# 令和2年度介護サービスアンケート結果報告

令和2年8月に、当法人が提供する介護サービスの内容等について、ご利用者様またはご家族様のご意見やご要望等を把握し、今後のサービスに活かすことを目的とし、利用者様アンケートを実施いたしました。なお、調査結果については次の通りです。

## 1. 調査方法・調査対象・回収率

調査対象	令和2年8月1日現在、サービスを利用されている方。
対象者数	167名
調査方法	郵送及び訪問等による質問紙調査（無記名）
調査期間	令和2年8月1日から8月31日
対象事業	デイサービス・ホームヘルプ・訪問入浴・ケアプランにしわが
配布数/回収率	配布数：167枚 回収数：137枚 回収率：82%
比較対象	平成30年度実施結果
所見	アンケート回収率については、前回実施（平成30年度回収率：72%）に比べ、約10%の上昇。

※前回実施：平成30年8月

## 2. 調査結果の概要

<b>Q1 職員の言葉遣いや対応、身だしなみに好感を持てますか？</b>			
はい (93.4%)	いいえ (1.5%)	どちらでもない (4.4%)	無回答 (0.7%)
<b>Q2 サービス利用中に職員対応や行動で「嫌な思い」をしたことはありませんか？</b>			
はい (95.6%)	いいえ (1.5%)	どちらでもない (1.5%)	無回答 (1.5%)
<b>Q3 サービスや計画内容は、ご本人やご家族の要望に添っていますか？</b>			
はい (96.4%)	いいえ (0.7%)	どちらでもない (1.5%)	無回答 (1.5%)
<b>Q4 職員は、サービス向上に努力していると思いますか？</b>			
はい (94.9%)	いいえ (0.7%)	どちらでもない (4.4%)	無回答 ( 0%)
<b>Q5 本人や家族から見て、ご本人は職員から大切にされていると感じますか？</b>			
はい (97.8%)	いいえ ( 0%)	どちらでもない (1.5%)	無回答 (0.7%)
<b>Q6 相談や困りごとがあった時に、当事業所に気軽に相談できますか？</b>			
はい (89.5%)	いいえ (2.2%)	どちらでもない (5.1%)	無回答 (3.7%)
<b>Q7 困ったことや不満がある時に、サービスごとに担当者がいることを知っていますか？</b>			
はい (48.2%)	いいえ (45.3%)	どちらでもない (2.9%)	無回答 (3.7%)
<b>Q8 社協で設置する「第三者委員会」があるのを知っていますか？</b>			
はい (35.0%)	いいえ (58.4%)	どちらでもない (5.1%)	無回答 (1.5%)
<b>Q9 「第三者委員」の委員名を一人でも知っていますか？</b>			
はい (14.6%)	いいえ (81.7%)	どちらでもない (1.5%)	無回答 (2.2%)
<b>Q10 当事業所を利用して良かったと思いますか？</b>			
はい (95.6%)	いいえ (0.7%)	どちらでもない (2.9%)	無回答 (0.7%)

## 所見

- Q1 前回比較90.2% → 93.4%と好感度を維持しているが、少数であるが「好感を持ってない」との回答があった。
- Q2 前回比較90.2% → 95.6%と「嫌な思い」は減少している。
- Q3 前回比較90.2% → 96.4%と要望に添ったサービスが提供されている。
- Q4 前回比較90.2% → 94.9%と職員全体がサービス向上へ努力していると思われる。
- Q5 前回比較88.0% → 97.8%と大幅に上昇し、職員の声かけや接し方などが心がけられている努力が感じられた。
- Q6 前回比較84.2% → 89.5%と微増している。
- Q7 前回比較46.6% → 48.2%と変化がみられなかった。苦情担当者の認識は低く、改めてPRを検討する必要がある。苦情等窓口のPR不足が示された。
- Q8 前回比較29.3% → 35.0%と微増しているが、苦情解決の相談窓口として「第三者委員会」をPRする必要性を強く感じた。また、相談窓口として存在せねばならず、利用者の安心の受皿として機能しなくてはならない。
- Q9 前回比較18.0% → 14.6%と減少した。Q8と同様に、第三者委員の認識は低く、周知方法等の検討が必要である。
- Q10 前回比較94.0% → 95.6%と維持している。



## 要望に対する回答

- Q デイサービスの送迎について早めの迎えをお願いしたい。  
A ご要望に合わせて、ケアプラン事業所とサービス事業で検討をし柔軟に対応いたします。
- Q デイサービスのメニュー(趣味活動等)が多すぎだと聞いたことがありますか？  
A 利用者様個々の体力や状態に合わせた活動を行っております。
- Q デイサービスを利用しております。隣に座る方が無口のため会話がはずみません。席を変更できないものか？  
A 利用されている全ての方が会話を得意としているわけではありません。座席は、配慮いたしますが介護職員や傾聴ボランティア等で不快な思いをしないようサービスを提供してまいります。

## 総合所見

アンケートを集計した結果、職員対応やサービスに関して、多数の方が社協介護サービスに好印象を持っているとの結果が示された。

しかし、少数ではあったが「嫌な思い」をしたご利用者様、「要望に添っていないサービス提供」も散見される、満足度を高めるために職員全員がサービスの質の向上に努めなければならない。一方、苦情担当・第三者委員会に関しては、半数が知らないと回答するなど、PR(広報)不足が示された。PRする方策を検討していきたい。

今回のアンケート調査の結果やご意見・ご要望をもとに今後の運営について参考とさせていただきます。また、ご利用者様に満足していただける質の高いサービスの提供ができるようより一層努めて参ります。

# サロンの紹介

西和賀町社会福祉協議会では、町内各地区にて「介護予防・日常生活支援事業（通称A型サロン）」を行っています。この事業は、西和賀町から受託し、体力測定・健康に関する助言などの健康管理、健康体操やレクリエーションでの運動指導を行い、介護予防・引きこもり防止の観点から、各地区で行う日帰りデイサービスに位置づけられます。A型サロンは、自身の健康維持のみならず、同じ地域に住む住民同士で介護予防の目的をもち、楽しく集う場を設置することで地域での交流の場としての役割をもっています。社協では今年度一〇地区で活動しています。



左草・ご当地体操



湯川・レクリエーション



川尻三区・バスハイク



小繫沢・バスハイク

また、地域住民が主体となり介護予防と日常生活支援の活動をし、地域で支えあうことを目的とする、「地域介護予防活動・日常生活支援事業（通称B型サロン）」が町内の九地区にて実施されています。

主な活動は、シルバリーハビリ体操や健康講話等の介護予防活動や、除雪・買い物・外出支援等の日常生活支援等で、各地区それぞれが自分たちに合った活動を作り出し、実施しています。

本会では、各地域のB型サロンの活動等を補助する「生活支援コーディネーター」を配置し、事業を推進しています。

今年度の初めは新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各サロン事業の自粛を余儀なくされていましたが、新しい生活様式で感染症対策を取り、当会・各地区工夫をしながら事業を再開しています。

これらの介護予防サロン事業について関心のある方は西和賀町社会福祉協議会までお問合せください。



新町・健康講話

沢内本部 八五―三三―三五  
湯田支所 八四―二二―六一



泉沢・スポーツ吹矢



川舟・栄養講座



鍵飯・シルリハ体操



長瀬野・感染症予防講話



天ヶ瀬・シルリハ体操



貝沢・出前講座



太田・エリターシステム



越中畑・体力測定